



関東の最東端に位置し、山頂や離島をのぞき、日本で一番最初に初日の出を見ることができる。

2022年の展望

2022年のえとは「みずのえとら」。陽気をはらみ、春の胎動(たいどう)を助けるという意味。冬が厳しいほど、若々しい生命力にあります。成長する年だといいます。

新型コロナ禍では、日本休業・失業保障の不十分さ、経済協力開発機構(OECD)の中でも下位に落ち込んだ低賃金、医療・保健衛生の脆弱(ぜいじやく)さを浮き彫りにしました。昨年の総選挙では、自民党でさえ「賃上げ」を公約にせざるを得ない状況で

この20年余り、低額、ペアゼロ春闘が続きました。これを転換し、社会に波及させるには、労働者、労働組合が声を挙げ、社会要求し行動しなければなりません。

それこそが国内総生産(GDP)の6割を占める個人消費を引き上げ、経済を回復、成長させる鍵であります。賃金引き上げへ、団結する時です。

働き方めぐる
せめぎ合い

労働者を守るルールの

高橋中央執行委員長 年頭のあいさつ

いのちと健康が守られ安心して働き続けられる職場の実現を



職場のみなさん、明けましておめでとうございます。平素より、全国税の運動へのご理解、またご支援・ご協力に感謝申

し上げます。さて、国税職員を取り巻く状況は、当局の徴税強化策の下で、年々厳しさを増しています。『ゆとり』を求める声を戒めるように新たな施策が次々に持ち込まれ、『息つ

く暇も与えられない』ような実感を持っている方も少なくないと思いま

す。

府當局は昨年の定期異動後、内部事務のセントラ化について、数年の試

行を経て本格実施へと移行しました。管理運営(管理)部門の経験が長い統括官からも、「大丈夫か?」と不安視する声があがっています。これは、業務センター等の事務遅延や処理誤り等の事故、

まだまだ頭在化していく

い諸々の事象に対する心配の声だと思います。ま

た、管理運営部門の職員は、自分の待遇がどうな

いものかと悩んでいま

す。この20年余り、低額、ペアゼロ春闘が続きました。これを転換し、社会に波及させるには、労働者、労働組合が声を挙げ、社会要求し行動しなければなりません。

それこそが国内総生産(GDP)の6割を占める個人消費を引き上げ、経済を回復、成長させる鍵であります。賃金引き上げへ、団結する時です。

組織再編の過渡期にのたたかいも、もうすぐ2年を迎えようとしています。いつ終息するかも予測できず、行動抑制の日々が続くため、仕事で抱えたストレスの発散も難しい状況にあります。が、ご自身とご家族の健康を第一としながら仕事を第一に職員のいのちとラスマントのない職場の実現、不条理や無理解をからいっさいの差別やハラスメントのない職場の実現、不条理や無理解を

職員に示すよう求めていきたいと思います。

中央執行委員長
高橋 誠

職場のみなさんには、

もう少し、ライフワークバ

ランスが根ざした働きや

楽しい職場への転換、そし

て第一に職員のいのちと

健康、生活を守るために

取り組みの推進。また、

全国税結成時の目標の柱

である「国民・納税者の

権利を尊重した民主的な

税務行政」を目指すこと

も忘れず、旺盛に運動を

進めて参ります。

職場のみなさんには、

もう少し、ライフワークバ

ランスが根ざした働きや

楽しい職場への転換、そし

て第一に職員のいのちと

健康、生活を守るために

取り組みの推進。また、

全国税結成時の目標の柱

である「国民・納税者の

権利を尊重した民主的な

税務行政」を目指すこと

も忘れず、旺盛に運動を

進めて参ります。

職場のみなさんには、

もう少し、ライフワークバ

ランスが根ざした働きや

楽しい職場への転換、そし

て第一に職員のいのちと

健康、生活を守るために

取り組みの推進。また、

全国税結成時の目標の柱

である「国民・納税者の

権利を尊重した民主的な

税務行政」を目指すこと

も忘れず、旺盛に運動を

進めて参ります。

職場のみなさんには、

もう少し、ライフワークバ

ランスが根ざした働きや

楽しい職場への転換、そし

て第一に職員のいのちと

健康、生活を守るために

取り組みの推進。また、

全国税結成時の目標の柱

である「国民・納税者の

権利を尊重した民主的な

税務行政」を目指すこと

も忘れず、旺盛に運動を

進めて参ります。

職場のみなさんには、

もう少し、ライフワークバ

ランスが根ざした働きや

楽しい職場への転換、そし

て第一に職員のいのちと

健康、生活を守るために

取り組みの推進。また、

全国税結成時の目標の柱

である「国民・納税者の

権利を尊重した民主的な

税務行政」を目指すこと

も忘れず、旺盛に運動を

進めて参ります。

職場のみなさんには、

もう少し、ライフワークバ

ランスが根ざした働きや

楽しい職場への転換、そし

て第一に職員のいのちと

健康、生活を守るために

取り組みの推進。また、

全国税結成時の目標の柱

である「国民・納税者の

権利を尊重した民主的な

税務行政」を目指すこと

も忘れず、旺盛に運動を

進めて参ります。

職場のみなさんには、

もう少し、ライフワークバ

ランスが根ざした働きや

楽しい職場への転換、そし

て第一に職員のいのちと

健康、生活を守るために

取り組みの推進。また、

全国税結成時の目標の柱

である「国民・納税者の

権利を尊重した民主的な

税務行政」を目指すこと

も忘れず、旺盛に運動を

進めて参ります。

職場のみなさんには、

もう少し、ライフワークバ

ランスが根ざした働きや

楽しい職場への転換、そし

て第一に職員のいのちと

健康、生活を守るために

取り組みの推進。また、

全国税結成時の目標の柱

である「国民・納税者の

権利を尊重した民主的な

税務行政」を目指すこと

も忘れず、旺盛に運動を

進めて参ります。

職場のみなさんには、

もう少し、ライフワークバ

ランスが根ざした働きや

楽しい職場への転換、そし

て第一に職員のいのちと

健康、生活を守るために

取り組みの推進。また、

全国税結成時の目標の柱

である「国民・納税者の

権利を尊重した民主的な

税務行政」を目指すこと

も忘れず、旺盛に運動を

進めて参ります。

職場のみなさんには、

もう少し、ライフワークバ

ランスが根ざした働きや

楽しい職場への転換、そし

て第一に職員のいのちと

健康、生活を守るために

取り組みの推進。また、

全国税結成時の目標の柱

である「国民・納税者の

権利を尊重した民主的な

税務行政」を目指すこと

も忘れず、旺盛に運動を

進めて参ります。

職場のみなさんには、

もう少し、ライフワークバ

ランスが根ざした働きや

楽しい職場への転換、そし

て第一に職員のいのちと

新型コロナワクチンの未接種者に強要するな 長官一基本的にはワクチン接種者で従事する



高橋 誠中央執行委員長



大鹿行宏国税庁長官

長官団交

全国税は12月3日、大鹿長官と今期二回目の団体交渉を行いました。交渉では、「調査・徴収事務にあたつての新方針」対応、原口さんの分限免職撤回、確定申告期、公正で明朗な人事の確立の課題で要求実現を迫りました。

高橋 誠中央執行委員長

全国税 11月25日に示された「調査・徴収事務にあたつての新方針」について、私どもの見解を述べます。2つの点から反対します。

1点目は、ワクチン未接種の職員に対し、事実上の強要に繋がること。2点目は、感染拡大期においても、抑制的な調査・徴収をせずに、遂行する体制を築くとしており、その事は、職員の心情及びのちと健康を守れない、軽視していると受け取れる観点から反対します。

職員の家庭では、緊急事態宣言から、家族の中に基礎疾患を有する者がいたり、受験生を抱えている

（3）処遇や人事評価につ

られた「調査・徴収事務にあたつての新方針」について、私どもの見解を述べます。2つの点から反対します。

一方で、いまだ未接種の職員には、基礎疾患やアレルギー体質、家族の反対であつたり、様々な事情を抱えている職員も少なくない。今回の方針は、その様な職員を追い込むものです。そこで、この方針を強行する場合は次の4点を守ることを要求する。

（2）内部事務等への分担替えは、周りの職員に接種していないと推察され、いわゆるワクチン・ハラスメントに繋がる懸念があることから、全職員に丁寧な説明を行うこと。

（1）ワクチン未接種の職員に、接種の圧力をかけないこと。

（4）ワクチン未接種の非常勤職員の「雇い止をしないこと」。

（4）ワクチン未